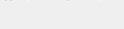
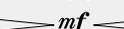
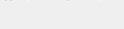
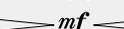
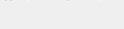
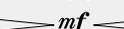


7. 学習内容と評価計画

〈B案〉(全5時間)

時	●学習内容 ・学習活動	○指導上の留意点 ●評価規準【評価方法】														
1	<p>●「メッセージ」の曲想や歌詞の内容に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴く。 ・範唱に合わせて主旋律を歌う。 ・歌詞を読んで、感想を述べ合う。 <p>●「メッセージ」の自分のパートを歌えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート(ソプラノ, アルト, 男声)ごとに取り組む。 ・自分のパートが歌えるかどうかを確認しながら合唱をする。 <p>●「メッセージ」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メッセージ」を歌ったりCDを聴いたりして、旋律(旋律の動きやフレーズ)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシート1に記入して、意見交流する。 ・ワークシート1に記入した「音楽を形づくっている要素」と「感じ取ったこと」を線で結び、音楽の特徴と歌詞の内容との関わりを意識して「メッセージ」を歌う。 	<p>○パートの活動の様子を見ながら、音を取りづらそうな箇所について、繰り返し歌うようアドバイスする。</p> <p>○意見交流は、発言のやり取りで終わらせるのではなく、歌ったり聴いたり楽譜を見たりしながら、一つ一つ確認し全体で共有していく。</p> <p>(例) ○○さんは「1, 2段目は全体に音が低いのにに対して、3段目は音が高く、旋律の動きが大きいと発言してくれました。みんな楽譜を見て、確認してみましょう。」「音の高さや旋律の動きを意識して歌って、1, 2, 3段目がそれぞれどんな感じがするか感じ取ってみましょう。」</p>														
<p>〈板書例〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">音楽の特徴</th> </tr> <tr> <th>音楽を形づくっている要素</th> <th>感じ取ったこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 2段目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に音が低い ・ $mf \rightarrow mp$  mf </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・爽やかな感じ ・広がっていくような感じ </td> </tr> <tr> <td>3段目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・音が高く、旋律の動きが大きい ・ $f \rightarrow$  </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・力強い感じ ・情熱的な感じ </td> </tr> <tr> <td>4, 5段目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・音の高さは中ぐらいで旋律の動きは少ない ・「いつでもそっと(どこかでそっと)」を2回繰り返しているが、リズムが異なっている。 ・ mp  mp  mf  </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい感じ ・温かい感じ </td> </tr> </tbody> </table>				音楽の特徴		音楽を形づくっている要素	感じ取ったこと	1, 2段目	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に音が低い ・ $mf \rightarrow mp$  mf 	<ul style="list-style-type: none"> ・爽やかな感じ ・広がっていくような感じ 	3段目	<ul style="list-style-type: none"> ・音が高く、旋律の動きが大きい ・ $f \rightarrow$  	<ul style="list-style-type: none"> ・力強い感じ ・情熱的な感じ 	4, 5段目	<ul style="list-style-type: none"> ・音の高さは中ぐらいで旋律の動きは少ない ・「いつでもそっと(どこかでそっと)」を2回繰り返しているが、リズムが異なっている。 ・ mp  mp  mf  	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい感じ ・温かい感じ
	音楽の特徴															
	音楽を形づくっている要素	感じ取ったこと														
1, 2段目	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に音が低い ・ $mf \rightarrow mp$  mf 	<ul style="list-style-type: none"> ・爽やかな感じ ・広がっていくような感じ 														
3段目	<ul style="list-style-type: none"> ・音が高く、旋律の動きが大きい ・ $f \rightarrow$  	<ul style="list-style-type: none"> ・力強い感じ ・情熱的な感じ 														
4, 5段目	<ul style="list-style-type: none"> ・音の高さは中ぐらいで旋律の動きは少ない ・「いつでもそっと(どこかでそっと)」を2回繰り返しているが、リズムが異なっている。 ・ mp  mp  mf  	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい感じ ・温かい感じ 														

		<p>●【知①】「メッセージ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察, ワークシート1】</p>
2	<p>●「メッセージ」の旋律、強弱などの特徴を捉え、音楽表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メッセージ」の歌詞を読んで表している情景や心情について話し合い、それらを思い浮かべながら歌う。 ・1番の「いつでもそっと」から終わりの部分をどのように歌うかについて考え、ワークシート2に記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈ワークシート2記入例〉</p> <p>「いつでも」は、リズムを変えて2回繰り返し強調するところだから、リズムの違いを感じながら丁寧に歌いたい。「そっと」は、優しく手を差し伸べる感じだから、<i>mp</i>を意識して優しい声で歌いたい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループまたはパートに分かれて意見交流し、歌い試しながら、ふさわしい音楽表現について考える。 ・全体で意見交流し、それらを歌って確認しながら共有してワークシート2に追加記入する。 	<p>●【思①】「メッセージ」の旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「メッセージ」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。【観察, ワークシート2】</p> <p>○班長またはリーダーが司会をする、意見を発表する順番を決めるなど、活動の仕方をあらかじめ提示し、生徒どうしてグループやパートの活動を円滑に進められるようにする。</p> <p>○グループやパートの活動の様子を見て、必要に応じ、「実際に歌ってみよう」などのアドバイスをする。</p> <p>○意見交流は、発言のやり取りで終わらせるのではなく、歌い比べたり聴いたりしながら、一つ一つ確認し全体で共有していく。</p> <p>●【態①】「メッセージ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察, ワークシート1・2】</p>
3	<p>●「Joyful, Joyful」の曲想に関心を持ち、日本語や英語の歌詞で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴く。 ・日本語と英語の歌詞を読み、感想を述べ合う。 ・範唱に合わせて日本語や英語の歌詞で歌う。 ・リズム打ちをする。 ・リズム打ちをしながら歌う。 	<p>○「Joyful, Joyful」の後半のリズムは難しいため、リズム打ちを丁寧にを行うとともに、リズムにのって楽しくリズム打ちができるよう心掛ける。</p>

- 「Joyful, Joyful」の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、知覚した事と感受した事との関わりについて考え、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。
- ・「Joyful, Joyful」の歌詞の意味を考えて歌ったりCDを聴いたりして、**A**と**B**の部分のそれぞれの曲想を感じ取り、ワークシート3に記入して、意見交流する。
- ・**A**と**B**の部分の曲想の違いが、何によって生まれているのかを考え、リズム、速度(速度の変化)、旋律(調性の変化)、強弱を知覚・感受し、捉えた音楽の特徴をワークシート3に記入して、意見交流する。
- ・ワークシート3に記入した音楽の特徴を意識して「Joyful, Joyful」を歌う。

○意見交流は、発言のやり取りで終わらせるのではなく、歌ったり聴いたり楽譜を見たりしながら、一つ一つ確認し全体で共有していく。

〈板書例〉

	曲想	音楽を形づくっている要素
A	<ul style="list-style-type: none"> ・清らかな感じ ・宗教的な感じ ・優しい感じ ・温かい感じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・4分音符中心のリズム ・速度は♩=76ぐらい ・ニ長調の旋律で#ファから始まる ・<i>mp</i>で始まり、4段目は<i>f</i>、最後は<i>mp</i>
B	<ul style="list-style-type: none"> ・躍動的な感じ ・軽やかな感じ ・楽しそうな感じ ・力強い感じ 	<ul style="list-style-type: none"> ・8分音符中心のリズムで8ビート ・フレーズの始まりに休符が入る ・へ長調の旋律でラから始まる ・<i>f</i>で始まり最後は<i>ff</i>

●**知②**「Joyful, Joyful」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。【観察、ワークシート3】

- 4
- 「Joyful, Joyful」のリズム、速度、旋律、強弱などの特徴を捉え、音楽表現を創意工夫する。
 - ・「Joyful, Joyful」の歌詞を読み、**A**と**B**の部分は、ほぼ同じ歌詞であることに気付く。
 - ・歌詞がほぼ同じであるにもかかわらず、**A**と**B**の部分は曲想が違うことを意識しながら歌う。
 - ・「Joyful, Joyful」をどのように歌うかについて考え、表現を工夫したい点とその理由をワークシート4に記入する。

〈ワークシート4記入例〉

Aは清らかで穏やかな気持ちを表したいから、優しい声で、速くならないように落ち着いて歌いたい。

Bは躍動的な明るい感じを出したいから、8ビートのリズムにのって軽やかに明るい声で歌いたい。

- ・グループに分かれて意見交流し、歌い試しながら、ふさわしい音楽表現について考える。
- ・全体で意見交流し、それらを歌って確認しながら共有してワークシート4に追加記入する。

- 5
- 創意工夫を生かして「メッセージ」と「Joyful, Joyful」を表現するための歌い方を追求する。
 - ・「メッセージ」を歌うグループと「Joyful, Joyful」を歌うグループに分かれる。
 - ・前時で取り組んだ音楽表現の創意工夫についてワークシートを見て思い出しながら、曲にふさわしい音楽表現になるよう、グループごとに、発声、言葉の発音、身体の使い方などをいろいろと試す。
 - 思いや意図をもって「メッセージ」と「Joyful, Joyful」を歌う。
 - ・どのように歌うかについての思いや意図を再確認し、ワークシート2または4に追加記入する。
 - ・思いや意図と発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能との関係を意識しながら、グループで歌う。
 - ・互いのグループで、よかった点などを伝え合う。

●生活や社会の中の音楽に関心をもち、その意味や役割について考えを深め、題材の学習を振り返る。

●**思②**「Joyful, Joyful」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚した事と感受した事との関わりについて考え、「Joyful, Joyful」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。【観察、ワークシート4】

- グループの活動の様子を見て、必要に応じ、「実際に歌ってみよう」などのアドバイスをする。
- 意見交流は、発言のやり取りで終わらせるのではなく、歌い比べたり聴いたりしながら、一つ一つ確認し全体で共有していく。
- 態②**「Joyful, Joyful」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察、ワークシート3・4】

○グループ活動の様子を見て、必要に応じ、「息の使い方を意識してクレシェンドを表現してみよう」などのアドバイスをする。

●**因**創意工夫を生かした表現で「メッセージ」、「Joyful, Joyful」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能身に付け、歌唱で表している。【演奏】

- ・教科書p.72を読み、アウトリーチについて知る。
- ・生演奏とCDや映像等で聴く演奏とを比較して、それぞれのよさについて意見交流する。
- ・自分で演奏することと、他者の演奏を聴くこととを比較して、それぞれのよさについて意見交流する。
- ・「メッセージ」と「Joyful, Joyful」を学級全体で歌い、生活や社会の中の音楽について考えるとともに、これまでの学習を振り返って、曲想、音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、学んだことをワークシート5に記入する。

○生徒自身の音楽体験を思い出し、自分と音楽とのつながりを実感するように促す。

●**態③**「メッセージ」, 「Joyful, Joyful」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり, 生活や社会の中の音楽に関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。【観察, ワークシート5】

ワークシート 〈B案〉

1. 「メッセージ」の音楽の特徴について、気付いたことや感じ取ったことを下の表に記入しましょう。

	音楽の特徴	
	音楽を形づくっている要素	感じ取ったこと
1, 2 段目		
3 段目		
4, 5 段目		

2. 「メッセージ」の1番の「いつでも そっと」から終わりの部分をあなたはどのように歌いたいですか。表現を工夫したい点とその理由を書きましょう。

3. 「Joyful, Joyful」の[A]と[B]の部分の「曲想」と、それぞれの曲想を生み出している「音楽を形づくっている要素」を記入しましょう。

	曲想	音楽を形づくっている要素
[A]		
[B]		

4. 「Joyful, Joyful」をあなたはどのように歌いたいですか。表現を工夫したい点とその理由を書きましょう。

5. 「メッセージ」, 「Joyful, Joyful」を歌唱し、生活や社会の中の音楽について考えるとともに、これまでの学習を振り返って、曲想、音楽の構造、歌詞の内容などに触れながら、学習したことについて書きましょう。